

対象者は
申請・提出を

児童扶養手当等の申請や現況届など

①児童扶養手当

父母の離婚などにより児童を養育する父母または養育者に対し、児童が18歳になった後の最初の3月31日（心身に障がいがある場合は20歳未満）まで手当を支給します。

▼支給要件 ①父母の離婚／②父または母が死亡／③父または母が重度の障がい者で就労不可能／④未婚など

▼支給月額 前年の所得により支給月額が異なります。支給要件や月額など詳しくはお問い合わせください。

②特別児童扶養手当

心身に障がいがある20歳未満の児童を養育する父母または養育者に手当を支給します。

▼支給要件 ①身体障害者手帳の1級～3級（下肢の障がいは4級まで）程度／②愛護手帳A（Bの一部を含む）／③その他障がい者で常に介護が必要 ※いずれの場合も福祉施設に入所していないこと。

▼支給額 児童1人につき5万2,500円か3万4,970円（障がいの程度によります）

③ひとり親家庭等医療費給付事業

保険診療の医療費自己負担分を、児童が18歳になった後の最初の3月31日分まで給付します。

▼対象 ①児童扶養手当の支給要件を満たすひとり親家庭等の父または母および児童／②父母のいない児童

※父や母については自己負担があります。

※上記①～③の制度のいずれにも所得制限があります。

現況届などの提出を忘れずに

児童扶養手当の受給資格がある人は現況届、特別児童扶養手当の受給資格がある人は所得状況届の提出が必要です。

該当者には7月末に通知を送付しています。期限までに提出がない場合は、8月分以降の手当が受給できなくなりますので、注意してください。

▼提出期間・提出先 8月3日（月）～31日（月）の平日に、こども家庭課（市役所1階）、岩木総合支所民生課、相馬総合支所民生課へ（29日・30日の土・日曜日は、こども家庭課で受け付けます）。

■問い合わせ・申請先 こども家庭課家庭給付係（☎40-7039）

対象者は
忘れずに申請を

介護保険負担限度額認定証の更新

令和元年度の介護保険負担限度額認定証の有効期限は令和2年7月31日までとなっています。令和2年8月以降も引き続き認定証が必要な人は、8月中に忘れずに更新申請を行ってください。

今年度の更新申請の際は、預貯金等を証明する添付書類が必要です。

▼申請時に必要なもの 利用者の印鑑・通帳、有価証券等の写し（利用者に配偶者がいる場合は配偶者の分も必要）

■問い合わせ・申請先 介護福祉課（市役所1階、☎40-7071）、岩木総合支所民生課（☎82-1628）、相馬総合支所民生課（☎84-2113）

たか丸くんと学ぼう♪

おもてなし

Omotenashi English

英会話

国際的なおもてなしを学ぼう！

Lesson 12!

食べに行こう

ワット ア ホット デー

What a hot day !

暑いね！

レッツ ゴー フォー サム

Let's go for some

シェーヴド アイス

shaved ice.

かき氷を食べに行こう。

たか丸くんのアドバイス

何かをしに行く時に「go for ~」がよく使われるよ。例えば、「散歩に行こう」は「Let's go for a walk」と言うよ。

意見や提案を
お寄せください

津軽広域水道企業団水道用水供給料金算定書（案）へのパブリックコメント制度による意見募集

津軽広域水道企業団津軽事業部では、浅瀬石川ダムを水源として津軽地域の市町村（弘前市、黒石市、五所川原市、平川市〈尾上地区、平賀地区〉、青森市〈浪岡地区〉、藤崎町、田舎館村、板柳町、鶴田町、令和3年度からはつがる市、五所川原市市浦地区にも供給予定）に水道用水を供給しています。

このたび、令和3年4月1日からの給水料金改定にあたり策定する、津軽広域水道企業団水道用水供給料金算定書（以下「算定書」という）について、その案がまとまりましたので、パブリックコメント（意見公募手続き）制度により、関係市町村の皆さんから意見や提案を募集します。

▼募集・閲覧期間 8月3日（月）～31日（月・必着）

▼算定書（案）の閲覧方法 ①津軽広域水道企業団のホームページから閲覧（<http://www.tusui.jp/>）、②津軽広域水道企業団津軽事業部で閲覧（土・日曜日、祝日を除く、午前8時30分～午後5時）

▼対象者 ①弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市（尾上地区、平賀地区）、青森市（浪岡地区）、藤崎町、田舎館村、板柳町および鶴田町（以下「関係市町村」という）内に住所を有する人、②関係市町村内に事務所または事業所を有する個人および法人その他の団体、③関係市町村

内の事務所または事業所に勤務する人、④関係市町村内の学校に在学する人、⑤算定書（案）に利害関係を有する人

▼提出方法 所定の記入用紙または任意様式に、氏名（法人等の場合は名称および代表者氏名）、住所、在住・在学の区分（任意様式の場合は上記の①～⑤の該当項目）、件名（「津軽広域水道企業団水道用水供給料金算定書（案）へ意見」など、任意様式のみ）を必ず明記し、次のいずれかの方法で提出してください。

①郵送…〒036-0342、黒石市大字石名坂字姥

懐2、津軽広域水道企業団津軽事業部総務課宛て

②津軽広域水道企業団津軽事業部へ直接持参（土・日曜日、祝日を除く、午前8時30分～午後5時）

③ファクス…53-2983

④Eメール…tugaru@tusui.jp

※記入漏れがある場合は、意見として受け付けませんので、ご注意ください。また、電話など口頭では受け付けません。

▼意見の公表など 寄せられた意見などは、算定書策定の参考とするほか、後日集約し、氏名・住所を除き、対応状況を企業団のホームページで公表します。なお、個別回答はしませんので、ご了承ください。

■問い合わせ先 津軽広域水道企業団津軽事業部総務課（☎52-6033）

もしものために
ぜひご利用を

「弘前市安心カード」をご利用ください

「弘前市安心カード」は、高齢者が体調の急変などで救急車を要請した際、駆け付けた救急隊員や搬送先の医療機関が必要な情報を迅速に把握し、適切な治療に役立てるためのものです。対象者には無料で配布しますので、ぜひご利用ください。

▼対象者 65歳以上の1人暮らしの人（65歳以上の高齢者のみの世帯や障がい者のいる世帯などで希望する人にも配布）

▼配布場所 介護福祉課（市役所1階）、市内7カ所の地域包括支援センター、市内の医療機関（一部を除く）

▼配布内容 安心カード、保管容器、たか丸くん

シール

▼使用方法 安心カードに、持病やかかりつけ医、内服薬、緊急連絡先などを記載し、記載したカードを保管容器に入れて冷蔵庫に保管します。たか丸くんシールは、冷蔵庫内に安心カードが存在することを示す目印として玄関扉の内側に貼ってください。

■問い合わせ先 弘前地区在宅医療・介護連携支援センターそよかぜ（弘前市医師会、☎32-2371）／介護福祉課自立・包括支援係（☎40-4321）

